

道徳通信

私のルール わが家の約束事

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年 1月26日

黄ブロック職員

「お小遣いの使い方」に関する作文を読んで、「自由と責任」について考えました。



主人公「私」のお小遣いは月1万円です。母と相談し、その中で携帯電話代も含め、自分に必要なものすべてをまかなうことになっています。次第に、自分にとって本当に必要なものかどうか、本当に欲しいものかどうか、じっくりと考えるようになっていきます。この実話に対して、授業では「自主」とは何か、「自律」とは何か、そして「自由と責任」はどのような関係なのか、親の目線にも立って考えていきました。

●● ●● さん

最初はやりたくないと思ったけれど、自分のためにやってみようと思った。

●● ●● さん

月1万円は我慢することのほうが多いと思うけれど、チャレンジをしてみないと人は成長できないと思った。

●● ●● さん

今、自分はお金について何も考えずに生活していたが、いざ自分がやってみることを考えると後先のことで考えないといけないから大変だと思った。自由になっていいことではあると思うけど、選択を間違っただけという責任を大きく感じると思う。

●● ●● さん

自由の裏には責任がある。自分が自由に考えて行動した場合、その責任は全て自分に来る。でも、それができて初めて親から離れたというような気がする。大人に近づき大人になるというのはこういうことだと分かった。自分のことは自分でやって、自分の感情をコントロールできるようにならないといけないと思った。お金を管理するのは、簡単なことではないと思った。

●● ●● さん

お小遣いをもらっていなかったけれど、1万円生活を少しだけやってみたいと思った。やってみないと学べないこともあると思いました。

●● ●● さん

自立することは、大人になってからだとずっと思っていたけれど、今から練習して行って、大人になった時にきちんと自立できるようになりたいなと感じました。

●● ●● さん

今の私は我慢することはできるけれど、自分で判断し、責任を負うということが苦手なので、それを克服するためにも一度金額を下げたりルールを甘くしたりして、「私」のお小遣い制を試してみたいと思った。

●● ●● さん

今、お金のことは全部親が管理してくれているけれど、将来のために自分の中でルールを決めて、自律していきたい。だから一万円お小遣い制をやってみたいと思った。

